

日本沙漠学会 2022 年度総会

(2022 年 6 月 11 日 (土) ハイブリッド開催)

次 第

開 会

会長挨拶

議長選出

議 事

1. 2021 年度事業報告・決算報告・会計監査報告
2. 2022 年度事業計画 (案)・予算 (案)
3. 学会賞審査報告
4. 内規改正の報告
5. その他

閉 会

1. 2021年度事業経過・決算・会計監査報告

(1) 2021年度事業報告

1) 会務報告

a. 会員 2022年3月31日現在、会員数は以下の通り。

名誉会員： 4名

正会員： 203名（入会9名，退会14名）

学生会員： 22名（入会9名，退会13名）

賛助会員： 4社

購読会員： 5機関

b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2021年度総会

・2021年5月30日（日），10：00～，Zoom ミーティング会場において，総会が開催された。総会の概要を「おあしす」No. 114（2021年6月）に掲載した。

(b) 評議員会（第34回）

・2021年4月10日（土）15：00～16：30，Web会議により開催された。議事概要を「おあしす」No. 114（2021年6月）に掲載した。

(c) 理事会

・第149～152回理事会を開催した。第149回議事録を「おあしす」No. 114（2021年6月）に，第150回議事録を「おあしす」No. 115（2021年9月）に，第151回議事録を「おあしす」No. 116（2021年12月）に，第152回議事録を「おあしす」No. 117（2022年3月）に各々掲載した。

(d) 編集委員会

・沙漠研究 Vol. 31 No. 1～Vol. 31 No. 4 を編集し発行した。
・メール会議によって委員会内における審議を行った。

(e) 学会賞審査委員会

・2021年度の学会賞審査委員会をメール会議により行った。

(f) 学会会員数減少への対策検討委員会

・委員会内においてメールにより情報交換を行った。

2) 刊行物

a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」

・Vol. 31 No. 1（2021年6月），Vol. 31 No. 2（2021年9月），
Vol. 31 No. 3（2021年12月），Vol. 31 No. 4（2022年3月）
※J-STAGEによる電子版の公開と年度末の合本号冊子の発行

b. ニュースレター「おあしす」

・No. 114（2021年6月），No. 115（2021年9月）
No. 116（2021年12月），No. 117（2022年3月）
※Webサイトでの電子版の公開

c. 日本沙漠学会講演要旨集

- ・第 32 集（第 32 回学術大会，2021 年 5 月 29 日～5 月 30 日）

※Web サイトでの電子版の公開

d. 学会ホームページによる情報提供

- ・学会ホームページによる活動状況に関する情報提供を行った。理事会，分科会，シンポジウム，関連学協会の催事等の開催案内と報告等をタイムリーに掲載し更新した。

3) 講演会及び研究会等の開催

a. 第 32 回学術大会

- ・2021 年 5 月 29 日（土）～5 月 30 日（日），当初は北海道（酪農学園大学）での開催を予定していたが，新型コロナウイルス感染拡大の影響下で対面での開催は困難であると判断し，オンラインでの実施とした。ポスター発表については，事前に Google ドライブにてポスターを掲示しコメント機能で質疑応答・討論を行い，さらにショートプレゼンテーションを併用した。

b. 2021 年度秋季シンポジウム

- ・2021 年 12 月 11 日（土）に「with コロナでの沙漠研究：post コロナに向けてのグッドプラクティスをシェアしよう」と題してオンライン（Zoom）形式で開催した。2020 年度，2021 年度に学会員に対して行った緊急アンケート「海外調査への新型コロナ影響アンケート」の後，再開した現地調査・業務の状況について紹介するとともに，特に先進的な事例を紹介した。

c. その他

- ・なし

4) 分科会等の活動

a. 沙漠工学分科会（2022 年 3 月 31 日現在，登録者数：87 名）

会長：田島 淳（東京農業大学）

幹事：鈴木伸治（東京農業大学）

連絡先（事務局）：〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1

東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科

Tel : 03-5477-2351, Fax : 03-5477-2620

E-mail : s4suzuki@nodai.ac.jp

活動実績：2022 年 2 月に第 33 回講演会を行う予定であったが，新型コロナウイルス感染拡大に伴い東京都で 12 月に発令された蔓延防止等重点措置が延長されたため，今年度も開催を見送った。

b. 乾燥地農学分科会（2021 年 3 月 31 日現在，登録者数：181 名）

会長：石川祐一（秋田県立大学）

連絡先（事務局）：〒914-0041 東京都町田市玉川学園 8-3-23

（株）アースアンドヒューマンコーポレーション気付

FAX : 018-872-1677

E-mail : owner-cadal@ijnet.or.jp

活動実績：(1) 2021年11月25日(木)、第30回講演会「地球温暖化と乾燥地の食から未来を探る」のテーマでWeb開催した。話題提供者と演題は、石川祐一(秋田県立大学)「本公演会の開催趣旨について」、篠田雅人(名古屋大学)「人類と砂漠化—近未来ビジョン—」、岩井雅之(ファームドゥホールディングス)「国内外でのソーラーシェアリング事例およびイスラエル灌漑システム・ヤシバグ(スリランカ産)とIT技術の導入」、片山直美(名古屋女子大)「昆虫食(未来食)それは地球の食糧危機を救い宇宙の長期旅行を可能にする」、石本雄大(青森公立大)「アフリカ半乾燥地における小規模農家の食生活とマメ食—ブルキナファソ北部およびザンビア南部の事例—」(以上、敬称略)である。54名の参加者を得た。(2) 学会ニューズレター「おあしす」内の記事として分科会機関紙「CADAL ニュース」第67号を掲載した(おあしす31(3))。(3) メーリングリストを開設・運用しており、関連する講演会・シンポジウムの開催および参加者の情報提供等に活用された。

c. 沙漠誌分科会(2021年3月31日現在, 登録者数: 64名)

会長: 縄田浩志(秋田大学国際資源学部)

連絡先(事務局): 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号(河合研究室)

E-mail: sabakushi.c@gmail.com

活動実績：(1) 2021年12月19日(日)、秋田大学(秋田市)にて、沙漠誌分科会研究会「フリー&オープンソースソフトウェアを用いたフィールドワークと分析の実践①」を開催した。(2) 2021年12月18日(土)、秋田大学(秋田市)で開催された人間文化研究機構「現代中東地域研究」秋田大学拠点次世代共同研究「“熱”からみる自然資源利用の知と実践—中東・ユーラシア乾燥地をフィールドに—」第5回研究会を共催した。

d. 風送ダスト研究会(2021年3月31日現在, 会員数: 12名)

会長: 黒崎泰典(鳥取大学)

連絡先(事務局): 〒680-0001 鳥取市浜坂1390

鳥取大学 乾燥地研究センター

TEL: 0857-21-7032, FAX: 0857-29-6199

5) 国内外の研究者・関係機関との交流及び協力

- a. Desert Technology XIV/International Conference on Arid Land (DT14/ICAL: 2021年9月7日~9月10日) がオンラインで実施された。
- b. International Desert Council (IDC: 2021年9月8日) がオンラインで実施され、次回DT15/ICALの開催(Jordan 2023)について議論がなされた。
- c. 日本地球惑星科学連合での活動。
- d. 地理学連携機構・地理関連学会連合への協力。

(2) 2021 年度決算報告

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

(単位：円)

	費目	決算額	予算額	対予算額増減	備考
収入の部	繰越金	6,934,921	6,934,921		
	会費	1,784,000	2,074,000	-290,000	予算額対比86%
	1) 入会金	18,000	10,000	8,000	18件
	2) 正会員費	1,496,000	1,664,000	-168,000	187件(2021年度会費152件+過年度前受35件)
	3) 学生会員費	40,000	130,000	-90,000	8件
	4) 購読会員費	30,000	70,000	-40,000	3件
	5) 賛助会員費	200,000	200,000	0	4社
	その他収入	203,131	370,000	-166,869	
	1) 出版費	180,000	360,000	-180,000	著者負担金81,000円+99,000円=180,000円 大会発表参加費2,000円×8=16,000円 著作権料7,124円 銀行利息7円
	2) その他	23,131	10,000	13,131	
(小計)	1,987,131	2,444,000	-456,869		
合計	8,922,052	9,378,921	-456,869		
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星科学連合年会費
	学会誌発行費	800,068	1,025,000	-224,932	
	1) データ作成費	561,000	600,000	-39,000	沙漠研究及びおもしろ編集費
	2) 合本発行費	220,000	400,000	-180,000	30巻合本作成費用
	3) 発送費	19,068	25,000	-5,932	発送手数料・メール便
	活動準備金	90,504	805,000	-714,496	
	1) 大会預託金	0	200,000	-200,000	
	2) シンポジウム預託金	0	100,000	-100,000	
	3) 分科会交付金	90,504	205,000	-114,496	沙漠誌分科会7,784円 乾燥地農学分科会82,720円
	4) DT14預託金	0	300,000	-300,000	
	表彰費	0	20,000	-20,000	
	会議費	0	12,000	-12,000	
	事務運営費	46,607	330,000	-283,393	
	1) 通信・郵送費	46,607	100,000	-53,393	振込手数料 会費請求等郵送料
	2) 印刷費	0	50,000	-50,000	
	3) 事務費	0	50,000	-50,000	
	4) 交通費	0	100,000	-100,000	
	5) 諸雑費	0	30,000	-30,000	
	学会業務等外部委託費	508,200	508,200	0	定額462,000円+消費税(10%)
予備費	0	50,000	-50,000		
(小計)	1,455,379	2,760,200	-1,304,821		
次年度繰越金	7,466,673	6,618,721	847,952		
合計	8,922,052	9,378,921	-456,869		

(3) 貸借対照表および監査報告

貸借対照表

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
郵便振込口座	7,098,466	借入金	0
三菱UFJ銀行	350,803	次期繰越金	7,466,673
現金	17,404		
合計	7,466,673	合計	7,466,673

会計監査報告

日本沙漠学会2021年度会計報告に基づき、帳簿・帳票類を監査したところ、適正に運営されたことを確認いたしました。

2022年4月14日

日本沙漠学会 監事 豊田 裕道

日本沙漠学会 監事 渡邊 文雄



2. 2022 年度事業計画及び予算 (案)

(1) 2022 年度事業計画 (案)

1) 会務

a. 会員 2022 年 4 月 1 日現在, 会員数は以下の通り.

名誉会員 : 4 名 正会員 : 203 名

学生会員 : 22 名 賛助会員 : 4 社

購読会員 : 4 機関

b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2022 年度総会

・2022 年 6 月 11 日 (土) 北海道足寄町-Web ハイブリッド開催.

(b) 評議員会 (第 32 回)

・2022 年 4 月 16 日 (土) Web 会議室にて既に開催.

(c) 理事会 (第 152 回)

・2022 年 4 月 16 日 (土) Web 会議室にて既に開催. 他 4 回の開催.

(d) 総務委員会 適宜開催する.

(e) 財務委員会 適宜開催する.

(f) 編集委員会 適宜開催する.

(g) 企画委員会 適宜開催する.

(h) 学会賞審査委員会

・2022 年 6 月 11 日 (土), 第 33 回学術大会におけるベストポスター賞の審査を行う. また委員会を適宜開催する.

(i) 学会会員数減少への対策検討委員会 適宜開催する.

(j) 会則等改定委員会 会長の要請により適宜開催する.

2) 刊行物

a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」

・Vol. 32 No. 1 (2022 年 6 月), Vol. 32 No. 2 (2022 年 9 月),
Vol. 32 No. 3 (2022 年 12 月), Vol. 32 No. 4 (2023 年 3 月)

※J-Stage による電子版の公開と年度末の合本号冊子の発行

b. ニュースレター「おあしす」

・No. 118 (2022 年 6 月), No. 119 (2022 年 9 月),
No. 120 (2022 年 12 月), No. 121 (2023 年 3 月)

※Web サイトでの電子版の公開

c. 日本沙漠学会講演要旨集

・第 33 集 (第 33 回学術大会, 2022 年 6 月 11 日)

※Web サイトでの電子版の公開

d. 日本沙漠学会ホームページでの適宜情報発信, 入会案内の更新.

3) 講演会の開催

a. 第 33 回学術大会

- ・2022年6月11(土)～6月12日(日)北海道足寄町-Webハイブリッド開催(研究発表会・総会・学会賞授与等).
- ・2022年6月11日(土)第33回学術大会企画シンポジウム「放牧酪農とSDGs」(足寄町町民センター・多目的ホール)

b. 秋季シンポジウム

- ・2022年10月15日(土)に「遊牧を考える一過去・現在・未来(仮)」と題して、ハイブリッド方式またはオンライン形式で開催予定.

c. その他

- ・適宜ミニシンポジウムを開催.

4) 分科会講演会等の活動

a. 沙漠工学分科会

- ・2022年12月ごろに第33回沙漠工学分科会講演会を開催予定.
- ・分科会会員と関連団体組織等との交流(共同研究等).

b. 乾燥地農学分科会

- ・2022年11月に第31回乾燥地農学講演会を開催
- ・分科会機関誌「CADAL ニュース」第68号をおあしすに掲載

c. 沙漠誌分科会

- ・沙漠研究の特集論文として、2018年10月開催の研究会「サウディアラビア、ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集への投稿を継続。2019年度秋季シンポジウム「半世紀前の写真資料の研究活用：サウディアラビア、ワーディ・ファーティマ地域における再調査から」に関する小特集を企画・投稿.

d. 風送ダスト研究会

5) 国内外の研究者・関係機関との交流及び協力

- a. Desert Technology XV (2023年5月)ヨルダン(死海)開催への協力.
- b. 日本地球惑星科学連合活動への協力.
- c. 地理学連携機構・地理関連学会連合活動への協力.
- d. その他 国内外の講演会等への協力・関係機関との交流及び協力.

6) その他本会の目的達成のための事業

役員選挙に関する活動, その他必要な事業を随時開催.

(2) 2022年度予算(案)

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:円)

	費目	予算額	前年度決算額	対前年度額増減	備考
収入の部	繰越金	7,466,673	6,934,921	-	
	会費	2,004,000	1,784,000	220,000	
	1) 入会金	10,000	18,000	-8,000	新規会員10名想定
	2) 正会員費	1,624,000	1,496,000	128,000	正会員数(2022.4.1現在)203名
	3) 学生会員費	110,000	40,000	70,000	学生会員数(2022.4.1現在)22名
	4) 購読会員費	60,000	30,000	30,000	4機関+繰越2件
	5) 賛助会員費	200,000	200,000	0	4社
	助成金	0	0	0	
	その他収入	370,000	203,131	166,869	
	1) 出版費	360,000	180,000	180,000	原著論文2報×4号
	2) その他	10,000	23,131	-13,131	著作権料、利息等
(小計)	2,374,000	1,987,131	386,869		
合計	9,840,673	8,922,052	918,621		
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星科学連合団体年会費
	学会誌発行費	975,000	800,068	174,932	
	1) データ作成費	600,000	561,000	39,000	各号150,000円×4号
	2) 合本発行費	350,000	220,000	130,000	Vol.31(1)~(4)合冊分
	3) 発送費	25,000	19,068	5,932	発送手数料・メール便・郵送料
	活動準備金	505,000	90,504	414,496	
	1) 大会預託金	200,000	0	200,000	学術大会開催経費(北海道(足寄)大会)
	2) シンポジウム預託金	100,000	0	100,000	シンポジウム開催経費
	3) 分科会交付金	205,000	90,504	114,496	3分科会
	4) DT14預託金	0	0	0	
	表彰費	20,000	0	20,000	学術賞表彰状作成
	会議費	12,000	0	12,000	評議員会・理事会経費
	事務運営費	310,000	46,607	263,393	
	1) 通信・郵送費	100,000	46,607	53,393	振込手数料 会費請求等郵送代
	2) 印刷費	100,000	0	100,000	会誌資料・選考名簿・選考関連印刷など
	3) 事務費	30,000	0	30,000	消耗品費等
	4) 交通費	50,000	0	50,000	
	5) 諸雑費	30,000	0	30,000	Webサーバー管理費等
	学会業務等外部委託費	508,200	508,200	0	
	予備費	33,800	0	33,800	
(小計)	2,374,000	1,455,379	918,621		
次年度繰越金	7,466,673	7,466,673	0		
合計	9,840,673	8,922,052	918,621		

3. 学会賞審査報告

該当者なし

4. その他

2021年10月9日に開催されました理事会（日本沙漠学会第151回理事会）において、以下の内規第10条の改正案について諮られ、承認されました。これは、学会賞の一つである「奨励賞」の対象範囲を博士課程修了後10年以内の会員まで広げ、さらに「自薦」を可とした改正です（おあしす(31-2)「学会記事」）。

日本沙漠学会 内規	
改正案	現行
<p>第10条 日本沙漠学会学会賞，学術論文賞，進歩賞および奨励賞に関する内規</p> <p>(4) 日本沙漠学会奨励賞は，乾燥・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与する。この場合の受賞者は，当該年度において35歳以下の会員，博士課程在籍者または博士課程修了後10年以内の会員とする。</p> <p>(9) 受賞候補者の推薦者は，候補者の業績および推薦書を推薦期限までに審査委員会（幹事）宛に郵送してなければならない。推薦者の資格は会員とし，奨励賞のみ「自薦」を可とする。なお，審査委員会の求めに応じて必要な資料を提出しなければならない。</p> <p>付則 (9) 本内規は2021年10月9日より発効する。(2021年10月9日改正，第10条の奨励賞に関する内規の改正)</p>	<p>第10条 日本沙漠学会学会賞，学術論文賞，進歩賞および奨励賞に関する内規</p> <p>(4) 日本沙漠学会奨励賞は，乾燥・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与する。この場合の受賞者は，原則として，当該年度において35歳以下の会員とする。なお，35歳を超えた会員を奨励賞に推薦する場合には，その理由書を添付する。</p> <p>(9) 受賞候補者の推薦者は，候補者の業績および推薦書を推薦期限までに審査委員会（幹事）宛に郵送してなければならない。推薦者の資格は会員とし，「自薦」は含まない。なお，審査委員会の求めに応じて必要な資料を提出しなければならない。</p>

内規記載ページ：<https://www.jaals.net/規約/内規/>

2020～2022 年度日本沙漠学会役員

会 長	森尾貴広				
副 会 長	鈴木伸治	田中 徹			
監 事	渡邊文雄	豊田裕道			
理 事	(総務担当)	島田沢彦	田島 淳		
	(財務担当)	高橋新平	矢沢勇樹		
	(編集担当)	川端良子	小島紀徳		
	(企画担当)	小長谷有紀	石川祐一		
	(学会賞担当)	渡邊三津子	的場泰信		
評 議 員	安部 豊	石川祐一	入江光輝	牛木久雄	川端良子
	北村義信	小島紀徳	児玉香菜子	小長谷有紀	酒井裕司
	真田篤史	篠原 卓	島田沢彦	菅沼秀樹	鈴木伸治
	高橋新平	田島 淳	田中 徹	豊田裕道	縄田浩志
	平田昌弘	藤巻晴行	的場泰信	三木直子	森尾貴広
	森 卓	矢沢勇樹	依田清胤	渡邊文雄	渡邊三津子
顧 問	安部征雄	森 卓			

委 員 会 (参考)

総務委員会 (*1 委員長 *2 事務局 ^W: Webmaster)
 島田沢彦*1,W 田島 淳 真田篤史 篠原 卓 齋藤哲治*2

財 務 委 員 会 (*1 委員長)

高橋新平*1 矢沢勇樹

編 集 委 員 会 (*1 委員長 *2 名誉委員長 *3 副委員長 *4 事務局)

川端良子*1 小島紀徳*2 安部征雄*2 酒井裕司*3 Tim Davis
 Richard Harper 安部 豊 石川祐一 石本雄大 石山 隆
 入江光輝 遠藤 仁 川田清和 北村義信 児玉香菜子
 周 建中 菅沼秀樹 高橋新平 地田徹朗 豊田裕道
 縄田浩志 平田昌弘 藤巻晴行 的場泰信 三木直子
 森尾貴広 渡邊三津子 三角誠司*4

企 画 委 員 会 (*1 委員長)

小長谷有紀*1 石川祐一

学 会 賞 審 査 委 員 会 (*1 委員長 *2 幹事)

渡邊三津子*1 的場泰信*2 安部 豊 石本雄大

分 科 会 長 (*1 沙漠工学 *2 乾燥地農学 *3 沙漠誌 *4 風送ダスト)

田島 淳*1 石川祐一*2 縄田浩志*3 黒崎泰典*4

日本沙漠学会名誉会員

安部征雄，牛木久雄，都留信也，真木太一

学 会 事 務 局

2020～2022 年度

日本沙漠学会事務局は、下記の機関において役割分担しています。用件の内容に応じて担当にご連絡下さい。

【日本沙漠学会事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F 株式会社共立内

Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 Email : jaals@kyouritsu-online.co.jp

【日本沙漠学会総務担当】

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

島田沢彦：東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科

Tel : 03-5477-2767 Fax : 03-5477-2941 E-mail : shima123@nodai.ac.jp

田島 淳：東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科

Tel : 03-5477-2345 Fax : 03-5477-2941 E-mail : tajima@nodai.ac.jp

【日本沙漠学会財務担当】

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

高橋新平：東京農業大学地域環境科学部造園科学科

Tel : 03-5477-2424 E-mail : shinpei@nodai.ac.jp

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

矢沢勇樹：千葉工業大学工学部応用化学科

E-mail : yuuki.yazawa@p.chibakoudai.jp

【日本沙漠学会編集委員会】

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8

川端良子：東京農工大学農学研究員国際環境農学部門

Tel : 042-367-5735 E-mail : yoshikok@cc.tuat.ac.jp

編集事務局：株式会社共立 三角誠司気付

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F

Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 E-mail : jals.editorial@gmail.com

【日本沙漠学会 Web 担当】

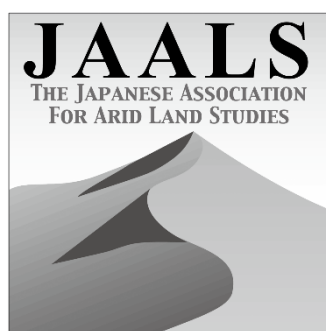
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

島田沢彦：東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科広域環境情報学研究室

Tel : 03-5477-2767 Fax : 03-5477-2620 E-mail : shima123@nodai.ac.jp

【日本沙漠学会ホームページアドレス】

<http://www.jaals.net/>



日本沙漠学会